

ヘリウム (不燃性ガス 無色・無臭)

| | | | | | |
|-------|---|-----|-------|------|------|
| 分子式 | He | 分子量 | 4 . 0 | 容器の色 | ねずみ色 |
| 用途 | ガス利用：分析計用、溶接用、原子炉用、呼吸用、浮揚力用、リークテスト用 等 | | | | |
| 該当法規 | 高圧ガス保安法、船舶安全法、航空法、港則法 | | | | |
| 物理的性質 | <p>不燃性の無色・無臭のガス。</p> <p>比重：0 . 1 4</p> <p>沸点：- 2 6 8 . 9 3 4</p> | | | | |
| 化学的性質 | <p>希ガスの一つであり、化学的には不活性である。</p> <p>非常に安定な物質で正規の化合物は作らない。</p> | | | | |
| 注意事項 | <p>使用にあたっては、密閉したり、換気の悪い所で行ったりしない。</p> <p>充てん容器は、40 以下になるよう、直射日光を避け、通風の良いところで、転倒、破損が起こらないよう保管する。</p> | | | | |

ヘリウム（不燃性ガス 無色・無臭）

事故時の措置

| 消火方法 | 処理剤 |
|-------------------------|---|
| 漏えいしたとき | <p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合は、通風のよい場所に移動する。</p> <p>施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして事故の発生を大声で告げ、避難させる。</p> |
| 火災のとき ・ 周辺での火災のとき | <p>不燃性なので火災の危険はない。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p> |
| 救急処置 | <p>大量に吸入した場合は、新鮮な空気中に移す。呼吸が弱っている時は、純酸素を吸入させる。</p> <p>液状のガスが皮膚に付着した場合は、凍傷の恐れがあるので、温めのお湯を用いて患部を温め、できるだけ早く医師の処置を受ける。</p> <p>目に噴出するガスを受けた場合は、濡れタオル等で冷却し、すぐに医師の診断を受ける。</p> |
| 特記事項 (人体に対する影響) | <p>純粋なヘリウム自身には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。</p> |
| 緊急通報例 119(消防署) | <p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「ヘリウムガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p> |